



力を合わせみんなが輝いた体育祭

～3年生の素晴らしいリーダーシップが発揮されました～

学校長 加藤 裕之

「ちゃんと並んで!」、「シャツ インして〜」(シャツをハーフパンツの中に入れること)。これは体育祭の色別練習のとき、リーダーシップをとっていた3年生がみんなにかけた言葉です。練習の段階から、3年生を中心に色チームごとにまとまって本番に臨むことができました。

今年から取り入れた新種目、全学年による「大縄跳び」は、1～3年生が混ざって大縄を跳び、色チームごとの跳んだトータル回数を競う競技です。3年生のリーダーシップのもと、昼の練習を何度も行い、色チームの協力と団結を図ってきました。3年生が後輩に声をかけ、体が折れるくらい一生懸命に縄を回している姿が印象的でした。当日は、大きなグラウンドいっぱいには大縄が何本も広がり、生徒たちの熱いかけ声とともに回され、壮観で、とても素晴らしい光景でした。



1～3年生全員の「大縄跳び」

最近の子どもは、他の人と協働する力、コミュニケーション力が不足していると言われます。そこをなんとかしようというのが、1～3年生の縦割りのチームによる活動のねらいです。教職員の期待以上に、練習の段階から3年生の自覚は高まり、進んでリーダーシップをとり、1、2年生も含めて、お互いに協力、団結していくという望ましい姿を見ることができました。リーダーシップをとった3年生も、一生懸命に協力した生徒とともに、仲間と協力する中で自己有用感を感じ、居場所を確かめることができた行事だったと思います。

また、クラスの団結を発揮する場もつくるため、クラス対抗の学年種目が行われました。1年生「台風の目」、2年生「背渡り競走」、3年生「ムカデ競走」です。どの学年の種目も、大勢で力をあわせる競技で、練習の成果が発揮されるものに決めました。生徒たちは練習を重ね、日ごとに、めきめきと上達していきました。ある朝練習のときに、グラウンドいっぱいには広がって、1～3年生がクラスごとに一生懸命練習している光景を見て、本当に素晴らしい光景だなと感激した教職員は、私だけではありませんでした。

閉会式で、実行委員長の生徒は次のように述べました。「体育祭に向けて声をかけ合いながら練習してきた時が一番熱く盛り上がっていたと思います。…<中略>…だからこそ、旭中を盛り上げることができ、勝ち負けに関係なく、楽しい体育祭をつくり上げられたのだと思います。1、2年生は来年の体育祭練習も、常に全力で仲間と助け合いながら頑張ってください。」

この言葉が何よりも、体育祭の成功を物語っていました。

今年は例年にない暑さで、熱中症の報道も多くされていました。旭中では、生徒の応援席すべてにテントを用意しました。当日はかなり朝早くから教職員が来てテントを張りましたが、閉会式のPTA会長のことばの中に「先生たちの心遣いに感謝いたします。」と言われ、とても嬉しく思いました。

当日は、雨天のため延期されたにもかかわらず、地域・保護者の皆様方には、ご多用のところご来場くださりまして、本当にありがとうございました。

体育祭 ～熱盛・汗盛・旭盛～

平成30年9月19日

当初予定されていた9月15日(土)は雨天のため延期となり、9月19日(水)に第43回の体育祭を開催いたしました。3年連続での体育祭延期となりましたが、当日は快晴に恵まれ、ベストコンディションの中、生徒たちが一生懸命に頑張る姿が随所にみられる体育祭となりました。平日にもかかわらず多くの保護者や地域の方に足を運んでいただき、生徒たちの競技に熱い声援をありがとうございました。

また、今年度から新たな試みとして取り入れた、いわゆる「縦割り」によってクラスを超えて3つのチームに分けるチーム編成方法は、昨年度の2色対抗よりも生徒たちの競争意識を高め、大きな盛り上がりを生み出すとともに、体育祭に向けて編成されたチームを一から創り上げていく過程で、生徒たちのチームワークやリーダーシップを高めることにつながりました。普段はあまり接点のない生徒同士でも同じチームで活動する中で、互いに声を掛け合っていたのが特に印象的でした。

色別優勝	白組
学年種目第1位	1年2組 2年2組 3年2組
応援旗最優秀賞	赤組



赤組の応援旗

【体育祭実行委員長のことば】

体育祭実行委員長

僕のクラスは、初めてムカデ競走を行ったとき、時間内にゴールすることができませんでした。その状況を見て、僕は諦めたい気持ちになりました。「他のクラスが強かったから仕方がない」「自分のせいではない」と逃げ道を作っていました。でも、練習を重ねているうちに、積極的に声をかけてくれる人や、準備・片付けを自分から行っている人がいるということに気づきました。クラスのみんが頑張っている姿を見て、クラスをまとめる立場の自分が、何をやっているのだろうと思いました。仲間が頑張っているのだから、自分にできることは、しっかりやろうと思えるようになりました。こうして、クラスの一人ひとりが意識を高めていくと、転ぶ回数がどんどん減っていき、気づけば他のクラスに負けないようなタイムが出るようになっていました。僕は、練習の成果が形になった瞬間、「熱盛・汗盛・旭盛」というスローガンの達成に近づけたと思いました。体育祭に向けて声をかけ合いながら練習していた時が一番熱く盛り上がっていたと思います。それはどのクラスも同じで、全校生徒が頑張っていました。だからこそ、旭中を盛り上げることができ、勝ち負けに関係なく、楽しい体育祭を作り上げられたのだと思います。

1・2年生は、来年の体育祭練習も、常に全力で仲間と助け合いながら頑張ってください。3年生も残りの行事をクラスのみんなで頑張ってください。



【各組団長による選手宣誓】



【縦割りで行った大縄】



【部活動代表者 感謝のことば】



【1年学年種目:台風の日】



【2年学年種目:背渡り】



【3年学年種目:ムカデ競走】

平成30年度 全国学力・学習状況調査

4月に3学年全員を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の調査結果について、概要をお知らせいたします。

教科別学習状況の結果について

国語A（知識）

すべての観点で県と全国の平均正答率を5%～7%上回っています。しかし、漢字の書き取りと慣用句において全国平均を下回った問題があります。これは読書時間が全国平均に比べ少なく、全く読書をしていない生徒が40%近くいるなど、様々な言葉に触れる機会が少ないことにも課題があると考えられます。今後は語彙を増やすことを意識して授業を行いたいと思います。

国語B（活用）

全ての観点において、県と全国の平均正答率より5～10%上回っています。特に、書くことの観点において10%近く国の平均正答率を上回りました。これは、書くことや話すこと等、表現することを苦手としていることを生徒自身が意識し、苦手克服に努めた成果が出てきたものと思われます。今後も自信をもって、表現することができるよう指導を行いたいと考えています。

数学A（知識）

「数と式・図形・関数・資料の活用」4領域のすべてで、県や全国の平均正答率を約7～10%上回っています。特に「資料の活用」の領域では県や全国を約10%上回る結果が出ました。観点別では技能が79.3%(全国平均70.4%)、知識が71.3%(全国平均63.3%)という結果になり、基本的な知識と計算の技能が身に付いていることが分かります。今後も学習プリントを活用し、継続的に知識と技能が身につくように指導を行いたいと考えています。

数学B（活用）

「数と式・図形・関数・資料の活用」4領域のすべてで、県や全国の平均正答率を約5～7%上回っています。技能の観点では58.3%(全国平均51.3%)、見方や考え方の観点では53.1%(全国平均45.1%)という結果でした。今後も応用問題にも多く取り組み、いろいろな見方や考え方ができるようにていねいに指導していきたいと考えています。

理科

すべての観点において、県と全国の平均正答率を上回る結果となりました。話し合い活動を中心とした思考力を育む授業の成果があらわれてきているように感じられます。理科の授業に対する意識調査では、「普段から考察を行い、まわりの人に説明できる」と答えた生徒が多数を占め、意欲的に授業に取り組んでいる様子が見えます。理科の「勉強」を好きと答えた生徒が少なかったため、学習意欲の向上をはかりたいと思います。

国語、数学のA問題（知識）、B問題（活用）、理科の全てにおいて、全国・県の平均正答率を5ポイント以上上回っていました。各教科の全分類（学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式）、全区分でも全て全国・県の正答率を上回っています。無回答率もほぼすべての問題で下回っており、意欲的に解答しようとする姿勢も見られます。今後も基礎的・基本的な内容を繰り返し学習し、理解をより深めていきたいと思います。

生活習慣・学習習慣の調査結果について

多くの項目は全国とほぼ同じ傾向でしたが、その中で、比較的差があったものをいくつかとりあげます。

(1. 当てはまる 2. どちらかといえば当てはまる 3. どちらかといえば当てはまらない 4. 当てはまらない)

質問項目	旭中	全国平均
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む) (1.(3時間以上と答えた生徒)の割合)	37.1%	10.5%
自分には、よいところがあると思いますか (1の割合)	23.8%	33.7%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか (1の割合)	54.3%	70.7%
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか(1,2の割合)	25.7%	38.7%

※学校の授業以外の勉強時間が多い傾向があります。人や社会の役に立とうという意識に課題が見られます。自己肯定感をさらにもたせる教育を工夫、実践しながら、課題解決を図っていかうと考えています。

10月・11月の主な行事

10月 1日	朝会
5日	3年英語検定
12日	児童生徒交流日
18日	個別支援学級体験学習
19日	課題探検グループ別発表会
20日	土曜授業日（公開授業） 地域防災訓練、学校運営協議会
22日	振替休業日
23日	旭区個別支援学級合同行事
24日	課題探検学年発表会
26日	文化発表会
31日	2年防災学習
11月 2～6日	3年進路相談
3日	授業参観、学級懇談会、朝会 3年進路説明会 ※振替休業日は12月25日
7日	横浜市中学校総合体育大会閉会式
7～8日	旭区個別支援学級合同宿泊学習
8～9日	横浜市学力・学習状況調査（3年）
15～19日	2学期末テスト
21日	学校保健委員会
28日	生徒会本部役員選挙

合唱コンクールの会場について

7月に2・3年生保護者を対象に実施したアンケートの結果を受けて、学校として検討を行った結果、当面は現行通り「旭公会堂」で実施する方向になりましたので、ご報告いたします。

地域防災訓練に1年生が参加します

10月20日の土曜授業日の午後、旭中1年生と中沢小6年生が地域防災訓練に参加します。今年度より、地域の皆様のご理解・ご協力のもと、旭中と中沢小の防災拠点の訓練を同日開催とし、児童・生徒は自分が居住している地区の拠点で訓練を行います。当日の活動を通して、子どもたち自身が非常時に地域の力になるという意識や自覚をもってくれることを期待しています。

初めての試みとなりますが、併設型小中学校として行う、地域と一体となった取り組みですので、保護者・地域の皆様もご理解のほど、よろしくお願いたします。

横浜市教育振興基本計画への意見受付中です

横浜市教育委員会が今後5年間で進める施策や取組をまとめた「第3期横浜市教育振興基本計画」に対するパブリックコメントを実施しています。詳細は、横浜市教育委員会のWebページをご確認ください。

栄光を讃える

(敬称略)

- 神奈川県中学校水泳競技大会 新人戦
男子200m平泳ぎ 優勝 2年男子
- 横浜市中学校総合体育大会 陸上競技の部
男子共通走高跳 第2位 3年男子
- 全横浜少年卓球大会
男子団体 第4ブロック 第1位
- 旭区中学校秋季バドミントン大会
女子シングルス 第5位 2年女子
第5位 2年女子
女子ダブルス 第5位 2年女子・1年女子
- 旭区中学校秋季剣道大会
男子団体 第2位
- 横浜市立中学校 義務教育学校 個別支援学級合同体育祭
3年女子ボール投げ 第2位 3年女子
2年男子走幅跳 第2位 2年男子
3年女子800m走 第5位 3年女子

